

国分寺市健康増進計画実施計画における
令和4年度の評価についての評価等委員からの意見

【個別の事業に関するもの】

事業番号	事業名	ご意見	対応方針
46	メンタルヘルス講座	メンタルヘルス講座の参加者が少ないうえ、目標値も2年に一回程度と低すぎると感じます。健康推進課の担当である48番に集約できるのではないのでしょうか。	「メンタルヘルス講座」は専門家を招へいし、ストレスとの向き合い方や、悩んでいる身近な人への接し方などについて学ぶ講座であり、「心の相談事業」は、悩みを抱えている方の相談を、精神科医師や保健師等が個別に受付けている事業となっております。 両者は目的が異なるため、集約は難しいです。メンタルヘルス講座の充実に努めて参ります。

※資料に整理するにあたり、文意を変えずに、一部修正させていただいた部分があります。

【総論に関するもの】

コロナ禍でもあり、事業の中止であったり、内容の縮小や変更があったりする中、それぞれに工夫をし苦労しながら各担当課が事業を実施してきて、その進捗状況の評価としては各担当課評価で出された評価で概ね問題無いと思います。

ただ毎回話題に出てくるとは思います。究極の目標は国分寺市民の健康増進ですから、評価の方法が各事業の実施回数だったり件数だったり受診率だったり、数値目標がありその目標に対して評価はできたとしても、それが実際に国分寺市民の健康増進にどれくらい寄与しているかの評価も考えなければいけないと思います。難しいことではあると思いますが、委員長が仰っていたスクラップ&ビルドという事で事業自体の再評価も必要なのではと思います。

それとやはり気になるのが重点課題とされていたと思いますが「働き盛り」世代等への取り組み★とありますが、まだまだ少ないように感じます。

次期計画の策定に関しPDCAのAの部分に繋がるような評価をする必要があると思います。